

糸島医師会在宅医療提供体制充実強化事業 コンパッション・コミュニティ研修

看取りにおける 「本人の意向の尊重」とは

「はて？」。NHK 朝ドラ『虎に翼』の主人公は、もやっとした気持ちになったとき、一人でつぶやきます。ガイドライン（2017年「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」）の改訂をきっかけに、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の推進など、本人の意向の尊重が、看取りの現場でもより強調されるようになりました。その一方で「はて、本人の意向とは…？」を経験した方も少なくないのではないのでしょうか。この「はて？」を持ち寄ってみよう、というのが今回の会です。

研修をナビゲートしていただくのは、生命倫理学者・社会学者で終末期医療や現代の死生観を研究されている田代志門さん。現場感覚に伴走しながらも鋭く問題提起をされる、しかしその語りは軽快でわかりやすい、という人気の先生です。「本人の意向の尊重」をより深く学びたい方、自分が抱いた「もやもや」を解きほぐしてみたい方、ぜひご参加ください。

参加費
無料

定員
60名
定員になりましたら
受付を終了します



お申込みはこちら
(7/10 締め切り)

日時

2024年 **7月13日** 土
13:30~16:00 ※13:00 開場

会場

糸島医師会 2階研修室 A・B
糸島市浦志 532-1
JR 筑肥線「糸島高校前」駅徒歩22分・車10分
お車の方は病院北側駐車場をご利用ください

申し込み

対象：医療介護職等 **60名**
申し込みフォーム(QRコード)またはE-mailで
お名前・職種・所属・電話番号をお知らせください
席に限りがありますので、同事業所からの参加人数
を調整させていただく場合があります。

タイムスケジュール

13:00 開場
13:30 開会
13:35 「看取りにおける本人の意向の尊重とは」
講師 田代志門先生
講演の中で、演習・グループワークを予定し
ています 途中コーヒー休憩あり
16:00 閉会

講師

たしろ しもん

田代 志門先生
生命倫理学者・社会学者



2007年東北大学大学院
文学研究科博士後期課程修了。
博士(文学)。2019年より東北
大学大学院文学研究科准教授。専門は社会学、生命倫
理学。
医学部と病院で10年研究者として働いた後、文学部に
教員として戻る。医療現場に学びつつ、医療現場に活
かす文系の知のあり方を模索中。
主な著書に『臨床現場のもやもやを解きほぐす 緩和ケ
ア×生命倫理×社会学』(医学書院 2023年)、『鎮静と
安楽死のグレーゾーンを問う 一医学・看護学・生命倫理
学・法学の視点』(中外医学社 2023年)、『現代日本の
「看取り文化」を構想する』
(東京大学出版会 2022
年)、『死にゆく過程を生
きる 終末期がん患者の経験
の社会学』(世界思想社
2016年)など



お問い合わせ(共催):にのさかクリニック ☎092-872-1136 (てらまち)
むらおかホームクリニック ☎092-985-1980 (ますもと)
事務局(主催):糸島医師会 在宅医療・介護連携拠点センター 糸島メディカルカフェ (おばた)
✉ itoshima.medcafe@gmail.com